# 禅でら

発行日　仏誕2571年（2005年）7月7日版発行所　豊橋閣（ほうきょうかく）日進禅寺　発行者　・MTスタッフ・ No59 部数1835部

暑さにご注意を！　お元気ですか。お世話になります。　交通事故にあわないよう！

**関係の方々へ。**
**檀信徒の方々に、郵送している寺報「禅でら」です。よろしければ、ご一読ください。**
**いつも、お世話になりありがとうございます。今後も、ご厚誼のほどよろしくお願い申上げます。**
**封筒の表の、住所等の間違い訂正は、お手数ですが豊橋閣日進禅寺代表役員へご連絡ください。**

## お盆施食立塔供養のご案内

お盆の施食立塔供養を行います。下記は参考です。

**8月7日（日）　午前8時･9時･10時･11時･正午**

1. お檀家様への封筒には、寺報「禅でら」・檀家台帳・「氏名・バーコードが印刷してある袋」、そして施食旗（施食会申込の家）が入っています。ご利用ください。
2. お布施の袋の表書の質問が多数あることと、昨年まで手動のコンピュータ入力を、2005年から寺務処理の正確な処理のためバーコード化しましたので、参会証を中止してお布施袋で参会証を兼ねます。
3. 2005年お盆から、お布施を**お塔婆を受取の時に、お布施袋兼参会証を受付へお出しください。**
4. 遠方へお住まいの場合や、障害等で郵送の方は豊橋閣日進禅寺でお塔婆を代わって納めます。ご安心を。
5. 他家のご先祖さまのご供養をしている方は、封筒の表のお名前が、お施主様になっています。二軒以上のお宅の、ご先祖さまをご供養している方も同様です。
6. 封筒の準備を3月から行った関係で、3～6月にご逝去のお宅は、故人のお名前の場合もあります。
7. 破産等お困りの方は、可能な範囲でご喜捨ください。ぜひ、ご先祖さまを捨てないでください。
8. 施食会のお参りと付届の無いお墓は、無縁仏としてご供養しお墓を撤去します。
9. 貴家の住所（番地）氏名・電話等の間違いや訂正は、速やかにご連絡ください。
10. **お塔婆は、15日の送り火の時にお墓へ納めてください。**但し、遠方にお住まいで、15日にお参り出来ない方は、施食会のお参りに続いて納めてください。近隣へお住まいで、どうしても忙しく15日に来られない方は、お盆後のお墓参りの時に納めてください。
11. 当日ご都合が悪く、後日お塔婆を取りに来られる方は、
    **8月7日（日）は、午後1時～3時半**（時間外は、閉扉のためお渡しできません。午後4時を過ぎる方は電話くだされば、お待ち申上げます）
    **8月8日（月）～15日（月）は、午前8時～午後3時半**（同上）
    です。8月7日の午前11時以前は、ご供養前でお精が入っていませんので、お渡しできません。
12. お盆中にお参りに来られない方のお塔婆は、日進祈念墓苑の場合、お参りに来なくてもお墓へ納めておきます。他の共同墓地の方については、特別回向以外は納めておくことは難しいです。
13. 施食会では、全ての家のご先祖さまのお経をお唱えしご供養します。**ぜひ、当日お参りください。**特に用事もないのに、混雑や待つのがイヤで事前事後に来られ、お参りされない方は、ご先祖さまのご供養です、お盆くらい当日お参りください。ご病気等お身体の健常でない方は別です。
14. ご先祖さまのご供養です。混雑する時も、**ニコニコ顔**と**やさしい心**（極楽の境地）でお待ちください。**我慢が足りず、待つことを怒る人のご先祖さまは泣いています。怒る人の心は地獄です。**

**お盆にはご家族そろってお参りを！**

**8月13日（迎え火）～15日（送り火）はご先祖さまはお宅へお客に来ていますので、14日のお墓参りは、ご先祖さまの居ないお墓へお参りする事になります。**

# 岸辺に広がる美しい街 西オーストラリア州の州都 パース

どこまでも澄み切った真っ青な空、青く輝くインド洋、スワン河に浮かぶ白いヨット、春には野原に一面に咲き乱れるワイルドフラワー、パースは西オーストラリア州の州都で人口は 135 万人の町である。パース市民及び観光客の憩いの場は、町から歩いて 10 分の所にある総面積 400 ヘクタールもの広さを持つ公園、キングズパークである。この丘に立てばパースの町並みが一望のもとに眺められ、夜ともなれば宝石のような夜景を楽しむ事が出来る。

パースの気候は地中海性気候で一年を通じて温暖である。夏は気温が上がっても空気が乾燥しているため木陰に入るととても爽やかである。

冬は朝晩少し寒くなるが、日中は 20 度前後に気温が上がる時もあり過ごし易い。また食べ物や果物、魚類が豊富で日本に比べればかなり安いし、日本食料品も手軽に入手可能である。

病気になった時、通訳付きの診療所や歯科医院もある。ちなみにパースの一戸建ての家の平均価格は 3600 万円ぐらいであり、日本人が生活費も年金で十分に暮らしていける町である。

オーストラリアの退職者ビザについては、下記の通りですので参考にして下さい。条件は、

1． 申請者はどちらかが 55 歳以上であること。
2． 配偶者以外の扶養家族がいないこと。
3． 週 20 時間以上働くことが出来ないこと。

写真 パース風景

4． 申請者または夫婦一組あたり 87 万豪ドル（7100 万円）の送金可能な資金があり、かつ 5 万 2 千豪ドル（420 万円）の年金や投資の配当金などの収入があること。
5． 健康上、オーストラリア入国条件を満たしていること。
6． オーストラリア滞在期間中を保証する民間の健康保険に加入すること。

退職者ビザは 4 年間有効で現地で延長申請可能です。

詳細は www.dima.australia.or.jp/tr/docs/retirement.pdf をご覧下さい。

オーストラリア在住の青木宏さんに依頼し、日時 ： 2005 年 3 月 11 日 7:00 にメールで送られました。

（次ページへ）

どなたか、豊橋閣日進禅寺の代表役員と一緒に行きませんか？

弘法大師ゆかりの地 五島（福江島）八十八か所霊場巡拝 悠久の歴史に包まれた島

〒853-0015 長崎県福江市福江港ターミナルビル内 五島観光連盟 Tel 0959-72-2963 Fax 0959-74-3215

（前ページから）
追伸
お元気ですか。実はオーストラリアの退職ビザのことですが、今年の７月より廃止されることになりました。5 月の初旬に移民局からの突然の知らせで、日本から退職移住を計画されている人々はかなりの数になるそうで、多くの人々は戸惑っておられるようです。
原因の一つは、世界からオーストラリアへの退職移住が増えると、こちらの政府の財政的な負担が増えることにあるようです。退職ビザがなくなると、他の方法として観光ビザで長期滞在（6 ヶ月）出来ますから、日本とオーストラリアを行ったり来たりの生活をしたい人には向いているかもしれません。
参考のため、この退職ビザ廃止の掲載されている邦人向けの新聞がありますので、早速お送りいたしますのでお読み下さい。
まずは、お知らせまで。
オーストラリア在住の青木宏さんから、日時 ： 2005 年 5 月 21 日 11:58 にメールで送られました。
尚、5 月 31 日に、青木宏さんから邦人向けの新聞が届きました。豊橋閣日進禅寺に置いてあります。ご希望の方はどうぞご覧ください。

# 法　事　の　申　込

豊橋閣日進禅寺では、皆様のご希望の多い土・日曜・祝日に、1 軒でも多くのお宅のご法事を行うために、申込方法を下記のⒶ、Ⓑのとおり改善します。

| |
|---|
| Ⓐ　会場が**豊橋閣日進禅寺本堂と、平日のお宅、**または**他墓地でも土・日曜・祝日に墓参が無し**の場合は、<br>ご希望の月より**三か月前の１日**頃の午前７時半から受付ます。 |
| Ⓑ　会場が**お宅で土・日曜・祝日、**または**他墓地で土・日曜・祝日でも墓参をご希望**の場合は、<br>ご希望の月より**三か月前の 10 日**頃の午前７時半から受付ます。 |

また、豊橋閣日進禅寺の都合で、受付開始日が変わる場合もあります。
尚、11 月～来年１月の予約の受付を下記ように開始します。お申込の電話は、土・日曜・祝日を除く、平日の午前７時半～午後４時にお願いします。皆様平等ですから、開始日より早く申込ないでください。
ご法事厳修の希望が、10 月以前の場合はすでに受付ています。

| |
|---|
| **11 月がご希望で、上記Ⓐの場合は、８月１日（月）から受付ます。** |
| **11 月がご希望で、上記Ⓑの場合は、８月 10 日（水）から受付ます。** |
| 12 月のご法事で、Ⓐの場合は、９月１日（木）から受付ます。 |
| 12 月のご法事で、Ⓑの場合は、９月 12 日（月）から受付ます。 |
| 来年１月のご法事で、Ⓐの場合は、10 月４日（火）から受付ます。 |
| 来年１月のご法事で、Ⓑの場合は、10 月 11 日（火）から受付ます。 |

尚、ご葬儀とお盆・初盆、そしてお彼岸を除くご供養の申込は、準備のためご希望の前月 10 日で締切ます。8 月以前の、初盆とお盆、そしてご葬儀を除くご供養の申込受付は締切ました。
いつもお知らせのように、本堂の開扉時間は午前７時半～午後４時です。お墓は夜間以外何時でもお参り出来ます。夜間立入禁止の理由は、墓地は元来安全な場所でした。時代の流れとともに社会が悪く非常識になり、不審者でも入るようになりました。その関係で、部外者からの犯罪を受ける恐れがありますので、8 月 13・15 日以外の夜間は、参拝者の安全確保のため立入らないでください。怪しい者を発見した場合は、毎回警察（110 番）へ連絡し、加えて防犯カメラで撮影・録画しています。ご安心してください。

# 05年 初盆の方方

（逝去順、敬称略）

下記は、市町名、氏名、享年（葬儀式場）です。

**■ 8月7日(日) 午前11時 施食会開始 (2004年寂) 予定通り11時にお願いします**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 春日 | 加藤光男 | 81才（いずも） | 左と同家05年寂 | 加藤さちゑ | 78才（いずも） |
| 新吉 | 鈴木良知 | 75才（トヨソー） | 花田 | 小粥美智子 | 75才（中央花田会館） |
| 中世古 | 小山知子 | 73才（トヨソー） | 西小田原 | 田中中一 | 73才（ティア南） |
| 羽根井 | 近藤徹 | 67才（リーブ） | 左と同家05年寂 | 近藤浩子 | 62才（豊隆殿羽根井） |
| 湯河原市 | 秋谷たま子 | 94才（自宅･茂登山） | 南栄 | 水野省三 | 49才（ｾﾚﾓﾆｰH高師） |
| 大和市 | 渥美茉萌 | 0才（日進禅寺） | 牟呂 | 伊東喜八郎 | 88才（リーブ） |
| 八町通 | 松下吉男 | 78才（いずも） | 多米中 | 白井房子 | 93才（いずも） |
| 錦 | 太田きみ子 | 94才（中央花田会館） | 仲の | 林栄 | 87才（トヨソー） |
| 中世古 | 畑野正子 | 80才（中央仏神殿） | 中柴 | 小林一次 | 56才（トヨソー） |
| 山田一番 | 柴田みつ | 90才（ティア南） | 中世古 | 小山年男 | 56才（三河葬具） |

**■ 8月7日(日) 正午 施食会開始 2004年寂ですが、軒数の関係で、施食会は正午にお願いします**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋市 | 楠ふさ子 | 75才（吹上愛昇殿） | 大岩 | 菅谷柄次 | 78才（豊隆殿） |
| 豊川市 | 岩月俊子 | 83才（ティア） | 現地 | 匿名 | 75才（現地） |
| 石巻本 | 長坂きみ | 93才（愛心殿） | 下地 | 佐藤八郎 | 88才（いずも） |
| 前田 | 渡會定男 | 79才（中央仏神殿） | 四日市市 | 中村春雄 | 91才（北大谷斎場） |

**■ 8月7日(日) 正午 施食会開始 (2005年寂) 予定通り正午にお願いします**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 花田 | 大羽武 | 79才（いずも） | 忠興 | 中島久江 | 75才（愛心殿） |
| 大手 | 浅倉博 | 74才（トヨソー） | 北山 | 近藤恒和 | 75才（ティア南） |
| 西幸 | 加藤よ志え | 95才（ティア南） | 南島 | 本田つぎ | 87才（北島会館） |
| 豊栄 | 板橋博和 | 74才（自宅･JA豊橋） | 大橋通 | 白井たまゑ | 84才（トヨソー） |
| 旭 | 河合あき | 78才（仏神殿） | 豊川市 | 山本はま | 94才（豊川いずも） |
| 南栄 | 山本行雄 | 69才（ティア南） | 東幸 | 板橋五郎 | 85才（ティア南） |

2004年 施食会 水向

読経タイム

| 宝のいずみ | 幸福を呼ぶ霊場 | お近くの弘法さま | こころのやすらぎ |
|---|---|---|---|
| **吉田七福神** | **幸せ地蔵尊** | **豊橋御市内弘法大師** | **新西国豊橋三十三観音** |
| 豊橋智日進禅寺は番外ダルマ<br>豊橋智豊橋智日進禅寺は番外達磨 | 豊橋智日進禅寺はしあわせ地蔵霊場<br>豊橋智日進禅寺はしあわせ地蔵 | 豊橋智日進禅寺は第二番札所 | 豊橋智日進禅寺は第七番札所 |

**「すべては変化する、怠ることなく修行しなさい」とはお釈迦さまの言葉**

# 禅寺の動静

ＵＲＬ　http://www.111-940.com/　の日進禅寺法要予定（パスワード 2410）と、この禅寺の動静は異なるところもあります。ご了承ください。尚、宗教法人豊橋閣日進禅寺の代表役員で東堂は笛岡邦彦で、住職は三代目の笛岡崇裕、副住職と後任代表役員は笛岡俊哉で、後任住職は四代目の笛岡世成です。

**2004 年 11 月**　**[法事]　20 軒。　[命日・その他]　73 軒。　[葬儀]　11 軒。**

1 日＝宗教法人研修会（名古屋）。7 日＝菅沼家精進落し（らく楽）。9～10 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。10 日＝極楽会（源氏他）。12・13 日＝名古屋、葬儀（愛昇殿）。13 日＝平安会（らく楽）。24・25 日＝浜松、葬儀（いずも）。26～27 日＝東京、葬儀。内科診察（帝国ﾎﾃﾙ）。27 日夕方＝杉の子会（仁の路）。

**12 月**　**[法事]　34 軒。　[命日・その他]　34 軒。　[葬儀]　3 軒。**

14 日＝平安会（功すし）。15 日＝七福神の寺院の会（横江仏具店会議室）。23～24 日＝四日市、葬儀（北大谷斎場・都ﾎﾃﾙ四日市）。26～27 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。

**2005 年 1 月**　**[法事]　25 軒。　[命日・その他]　40 軒。　[葬儀]　2 軒**

2 日＝開山、温恭實道大和尚 23 回忌。約 80 名のお参り、続いて精進落し、三代目崇裕（そうゆう）の住職披露（ﾎﾃﾙｱｿｼｱ豊橋 5F 宴会場）。7 日＝前住實道大和尚 23 回忌正当供養。吉田七福神大祭。8 日＝永福寺ご一行様吉田七福神参り。23 日早川家精進落し（武蔵）。18 日＝新西国豊橋三十三観音ご一行様参り。23 日高橋家精進落し（三三九）。30 日＝中神家 3 回忌（ご自宅）、皆様寺参りの間に私は豊橋閣日進禅寺で法事を 1 軒済ませ、精進落し（らく楽）。31～2/1 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。

**2 月**　**[法事]　31 軒。　[命日・その他]　44 軒。　[葬儀]　3 軒**

9～10 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。11 日＝極楽会（功すし）。12 日＝大羽家精進落し（ﾎﾃﾙ日航豊橋）。20 日＝近藤家精進落し（源氏）。25 日＝温恭会（ﾎﾃﾙｱｿｼｱ豊橋華雲）。28 日＝浜松、宝円寺様へお参り。28～3/1 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。

**3 月**　**[法事]　20 軒。　[命日・その他]　23 軒。　[葬儀]　2 軒**

5 日＝中神家精進落し（本荘）。7・8 日＝大阪、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。14 日＝天国会（仁の路）。18 日＝温恭会（らく楽）。19 日＝小林家精進落し（ﾎﾃﾙｱｿｼｱ豊橋華雲）。20 日＝春彼岸立塔供養会（約 540 軒 1400 人お参り）ご先祖さまも喜んでいます。25 日＝平安会（鳥善）。26 日＝浅倉家精進落し（みなと）。28～29 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。29 日＝豊橋閣日進禅寺地鎮祭。

**4 月**　**[法事]　22 軒。　[命日・その他]　40 軒。　[葬儀]　4 軒**

1 日＝極楽会（功すし）。7～8 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。15 日＝茶室完成。早い完成でよかった。16 日＝佐藤家精進落し（みなと）。24 日＝小木曽家精進落し（市役所展望ﾚｽﾄﾗﾝ）。25 日＝岡崎、冨田家枕経（ｿｻｲｴﾎｰﾙ大平）。26 日＝浜松、宝円寺様津葬（本葬）、続いて四十九日忌（いずも）。岡崎、冨田家通夜（ｿｻｲｴﾎｰﾙ大平）。27 日＝岡崎、富田ふみ儀葬儀、三日法要、続いて精進落し（ｿｻｲｴﾎｰﾙ大平）。29 日＝豊橋閣日進禅寺上棟式。30 日＝山本家精進落し（醍醐）。

**5 月**　**[法事]　23 軒。　[命日・その他]　37 軒。　[葬儀]　2 軒**

画　竹尾　文夫さん

1 日＝及部家精進落し（らく楽）。4 日＝孫と豊橋動物園。5 日＝こどもの日で孫と名古屋（ビッグカメラ）。8 日＝永平寺（平出家納骨同行）。14 日＝加藤家精進落し（らく楽）。16 日＝母・孫・娘・妻と愛・地球博（万国博）。29 日＝極楽会（功すし）。20～21 日＝東京、檀務（帝国ﾎﾃﾙ）。31 日＝天国会（功すし他）。

**6 月**　**[法事]　24 軒。　[命日・その他]　24 軒。　[葬儀]　1 軒**

10～11 日＝東京、檀務。内科診察（数寄屋橋次郎他、帝国ﾎﾃﾙ）。12 日＝岡崎、冨田家忌明（ｿｻｲｴﾎｰﾙ大平）、続いて精進落し（魚清）。17 日＝地獄会（つくね屋他）。19 日＝花井家精進落し（心すし）。26 日＝孫と名古屋（ビッグカメラ）。月末＝豊橋閣日進禅寺増築工事完成。1 か月も早い完成でした。大手町の彦坂昌宏建設設計事務所さん、豊川市の丸三建設さんに感謝します。

煩悩即菩提＝我々の煩悩がそのまま悟りだ

# 孟蘭盆の由来と行事

お盆のご供養には二つの意味があります。一つは**「仏さまを敬い偲ぶ、ご先祖さまを尊ぶ」というご先祖さまや亡くなった人のためのご供養**で、もう一つは**「お世話になった、すべての人や物に感謝する」という父母、親族、そして周りの人々や物への報恩感謝のご供養**です。

お盆は、正しくは「孟蘭盆会（うらぼんえ）」と言われ、インドの古代語（梵語）のウラバンナに由来します。仏説孟蘭盆経には、お釈迦さまの直弟子の一人で、神通第一といわれた目蓮尊者（もくれんそんじゃ）という高僧の「亡くなった母親への法会」として伝えられています。そのご供養によって、逆さま吊るされた地獄での苦しみも取除くと言われます。烏藍婆嚫（うらばんな）は、「倒懸」、または「救済」とし「救倒懸苦」と訳します。

このいわれは、むかし目蓮尊者がお母様に養っていただいた恩に報いようと思い、亡き母の様子を神通力で見ると、母は骨と皮だけになり飲食（おんじき＝飲物、食物）の道に苦しんでいるのを見て驚き「何とかして母を救いたい。」とお釈迦さまに救いを求めたところ、お釈迦さまは「おまえの母親は、生前に他の人びとへの布施を怠った。その罪によって、飲食の道の飢渇にあっているのだ。おまえが母親の苦しみを救いたいというならば、雨季に行われた修行僧の三か月間の修行（安居＝あんご）があける最後の日、即ち修行僧が行脚の出発前に一堂に会し、自分を懺悔する自恣（じし）の日、すなわち 7 月 15 日に清らかな心身となった修行者を招いてご供養し、修業僧たちに色々の飲食を供え、お経を唱えて布施することだ。」と諭しました。お釈迦さまの言葉どおりにご供養した目蓮尊者は、母を飲食の苦しみ（飢渇）から救うことが出来たのです。日本においての現代のお盆は「先亡の父母が苦しい目に合っていても、その苦しみから救うことが出来る。」ということに、端を発して行われる**「追善供養」**の行事です。修業者（僧侶）を招いて「ご供養を厳修する。」と諭されたことに起ります。お盆は、7 月（祖霊をまつる、仏事の月として）15 日ですが、関東地方のほとんどと東海地方の一部を除いては、風習として 8 月の月遅れ盆で厳修します。月遅れのお盆は 8 月 13 日から 15 日（または 16 日）までです。時代の流れにともない、旧盆（旧暦の 7 月 15 日）は次第に無くなり、ひと月遅れのお盆でお参りするようになりました。

その宗教行事についても、「魂祭」、「精霊祭」、単に「お盆」、亡者の喜ぶ時という「歓喜会」とも言われお正月（祖霊をまつる、神事の月）と共に民間の二大行事とされています。

その縁起については、西暦 606 年（推古天皇 14 年）7 月 15 日に斉会を設けたのが始まりとされ、本格的には 657 年（斎明天皇 3 年）7 月 15 日に、飛鳥寺（元興寺）の西に須弥山の像を作り孟蘭盆会を催しました。平安時代以降に各皇族、祖皇宗が大膳（天皇の食事係）に命じてお盆のお供えをさせたということが、続日本書紀に記されています。これが行事として盛んに行われ、これが民間行事となり、万燈と燈篭を仏前に供えたりこれらのお供えを 24 日の地蔵盆に川に流す（現在では、公害となるために川には流すことは出来ない）行事が行われ、今日の盆踊の元の念仏踊が行われたりするようになり今日まで引続いています。

ご供養については、俗に棚経・孟蘭盆ご供養と山門施食会があります。これは各家やお寺に施食棚を設けて、その棚に 5 枚、あるいは 7 枚の仏さまの名前を書いた五如来の旗を吊り、お供えをし、菩提寺の方丈さまに施食棚の前でお経を唱え布施するのを棚経・孟蘭盆ご供養といい、お寺で一定の作法に従って飲食の供養をし、さらにそれらの得脱を祈って営む法会を山門施食会といいました。

豊橋閣日進禅寺では、お檀家の皆様の平等と交通・諸般の事情で、昭和 60 年（1985 年）8 月から第一日曜日の山門施食会において、棚経と孟蘭盆のお経を一緒に唱え皆様のご先祖さまのご供養をしています。

8 月 13 日から 15 日までは、各各のご家庭で色々なお供物を供え、功徳の施主と家中の皆様が仏さまの喜ぶように飲食ご供養し、**現世で私たちが安心して生活出来ることを、ご先祖さまに感謝するようになりました。**

# お塔婆立の設置

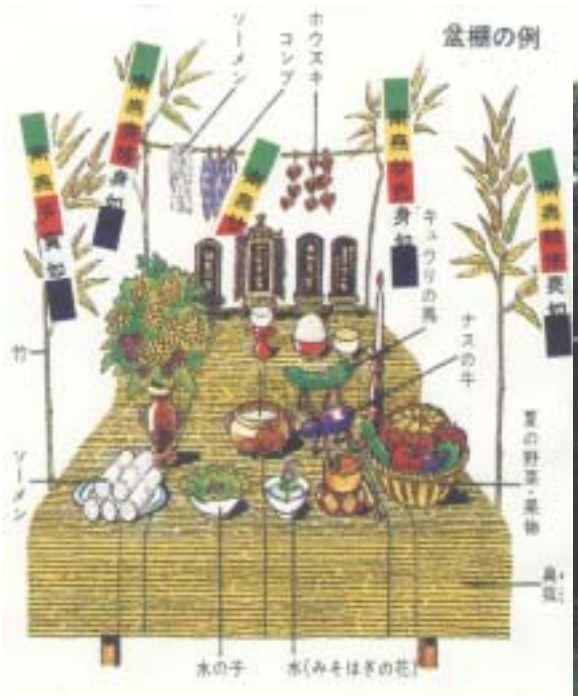
日進祈念墓苑は、ご先祖さまや他家の仏さまを大切にするために、お塔婆立てを設置していただきました。**風が強くてもお塔婆が飛ばず、通路に倒れず、お参りの時もお塔婆を片付けて通ったりご先祖さまを跨いだりすることなく安心です。お塔婆がきれいにならび、ご先祖さまとお参りの方の心も清清しいです。**ご理解、ご協力ありがとうございました。

設置時に、お塔婆立が無いことを見過ごしたために、未だ未設置の方は豊橋閣日進禅寺へお申出ください。お塔婆立を設置します。費用は1万2千円です。

また、お塔婆立ての費用が、数人未納です。未納の方は、郵便局から「郵便振替 00830-4-79002　豊橋閣日進禅寺」へ納入してください。

日進祈念墓苑の工事は、苑内施設や皆様の墓石保護のため、指定の高橋石材工業所（Tel　0532-53-0296）にお願いしてください。他の業者の工事は出来ません。ご了承ください。

## 施食棚（せじきだな）と高万燈のご供養の仕方



**ご先祖さま　今日も一日ありがとう。**
**とうさん、かあさん　皆の笑顔をありがとう。**
**ののさん　私の一生ありがとう。**

# イントランス・身障者トイレ・茶室等増築竣工

皆様が便利なように、いろいろ計画して、砂利部分の駐車場へ雨降りでも濡れないために屋根を作り、受付を一階へ移しました。また、身障者トイレを新設して、洒落た感じのイントランスを完成させ、二階の和室は改装して洋室にし、隣室へ茶室と庭を造り、お客様が靴を脱がずにお待ちいただけるようにしました。また、ひどい雨漏りと、外土間の雨天時にも滑らないよう直し、安全や建物のためにも大改修をしました。

施工は入札で、最高値が 3300 万円、そして各社が続き、工費の高い会社と比べ 20%安で適切な丸三建設さんへお願いし、他に追加と差替工事が少々、設計管理、直接依頼して一階本堂のカーペット張替、一階～三階の窓の障子張替、石材移転改造工事、仏具改造費用、そして看板代が必要で、設計・管理、その他追加を含む総工事費約 3200 万円を、お寺の経費で支払ました。

工期は、お彼岸後の 3 月末～7 月 20 日（4 か月間）の予定で、お盆月前に竣工の契約でしたが、3 か月という短い期間で 6 月末には完成しました。工期が 3 か月で丸三建設さんにはご苦労はあったと思いますが、ゆとりある完成で、お盆に間合い助かりました。しかも、追加・変更工事も安くしていただき、設計の大手町の彦坂昌宏建築設計事務所さん、豊川市の丸三建設さん・監督さん・工事関係社各位に感謝申上げます。

今時ですので、バリアフリーもほぼ完成し、受付、ならびに障害者用のお手洗いも一階入口に新設、本堂は、カーペットを新しく張替え、節約のため照明は自動点滅を多く採用し、皆様にやさしい本堂で、安全に心を落着けお参りしやすくしました。足が故障の方が増えているため、二階は今までの和室・大悲閣をイス席に改良、靴を脱がずお待ちいただき、また隣室へ茶室「夕静庵（せきじょうあん）」を作りました。法事やお茶会にご利用ください。お檀家様以外のご利用も歓迎です。三階は今までどおり、祠堂殿とお位牌堂兼福恩寺本堂とし、節電のため照明を自動点滅に改良、車椅子・足腰の弱い方にも二・三階へはエレベーターご利用でお参りできます。ぜひ、お墓参りの前後には、ご本尊さま・ご先祖さまのお寺のお位牌にもお参りください。日進祈念墓苑以外の共同墓地で、お墓参りの前後にお参り出来ない方は、お買物等で駅へお出かけの節にお参りください。豊橋閣日進禅寺の本堂は、開扉期間内の午前 7 時半～午後 4 時にお願いします。お墓・ご本尊さま・お寺と仏壇のお位牌は一セットのお参りです。尚、何時もお知らせしていますとおり、豊橋閣日進禅寺の開扉時間は、午前 7 時半～午後 4 時で、お盆の 8 月 13 日と 15 日は午前 6 時半～午後 7 時です。また、時間外の本堂のお参りは、予めお電話いただければお待ち申上ます。お墓は、夜間以外お参りできます。ご葬儀以外のお電話は、開扉時間内にお願いします。

**お車の駐車は、駅大通りの地下駐車場「パーク 500」へお願いします。遵法で安心です。**

工費は豊橋閣日進禅寺が負担しましたが、多数の方方のお心遣いのご喜捨ありがとうございました。

本堂正面　左の白い建物がイントランス

1F　お手洗い（身障者兼用）

（次ページへ）

**亡くなった仏さまは、一度、ゆかりある自宅へ帰り、枕経は自宅でご供養しましょう。**

要するに、家が無いとか死亡場所と家が遠い（50km以上もある）とか特別な事情のない限り葬祭場直行はダメ。

（前ページから）

1Ｆ　新受処（受付）

1F　イントランスから本堂

## 上求菩提・下化衆生

2F　茶処　大悲閣（だいひかく）

2F　茶室　夕　静　庵（せきじょうあん）

## 慈悲の心･平等と忍耐

## 携帯電話からホームページを開く

豊橋閣日進禅寺のホームページ（ＵＲＬ　http://www.111-940.com/）を、コンピュータと携帯電話から開くことが出来ます。豊橋閣日進禅寺の、法要予定も見ることが出来ます。法要予定表のパスワードは、　2410　です。

二次元バーコード（O2）の読取りに対応したカメラ付携帯電話で、左のマークを接写で読取り、携帯サイト「豊橋閣日進禅寺ホームページ」に簡単アクセス出来ます。対応機種・操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

**お盆には、お墓のお掃除もお願いします。ご先祖さまのおかげです。**

# 仏 教 四 方 山 話 (2)

ベティ：　最近、お墓のお掃除が行き届いて、草も無く、砂利もきれいに敷かれ気持ちよくお参りできますね。ありがとうございます。しかし、お花があげて無いお墓もありますが。

ジャック：　そうですね。お掃除していただき感謝します。それは、仏さまには新しいお花やお供えを差上げなくてはいけませんから、枯れたお花を抜いて処理しているからです。清潔さは大切なことです。

ベティ：　ご先祖さまへ、枯れた花やいたんだ物をお供えしないということから、片付けてくれるのですか。

ジャック：　そうです。新しいお花でも枯れてきます。枯れかかった花をあげておくと、ご先祖さまに失礼なばかりか、お参りする人の心をきれいに出来なかったり、腐った花つぼの水がお参りの人やご近所に住む家に匂ったり、蚊がわいたりして、ご近所やお参りの皆様にご迷惑がかりますね。今までの禅でらに書いてあったように、**仏教は周りの人への心遣いが大切です。**

ベティ：　ですから、お花を抜かれたくない人は毎日お参りし、水を換え、お花も新しいものにしておけばよいのですね。では、お塔婆はどうするのでしょう。

ジャック：　そのとおりです。毎日、お墓参りすることは難しいので、禅でらに書いてあったように、自分でお参りに行く日を決めてご先祖さまにお参りするのです。またお塔婆は、今の法律ではお墓で焼いて納めることは出来ませんので、業者に依頼するそうです。お寺では年に一度、12 月頃、業者へ依頼し、回収して、特別に焼却し、その灰を定められたところへ納めているようです。

ベティ：　初めてわかりました。ですから、片付けた後、すぐお墓へお参りに行った時には、お墓にお塔婆が無いのですね。

ジャック：　そうです。ですから片付ける前に法事がありお塔婆を納めた方は、業者が回収した後には、お墓にお塔婆が無いのです。そのことが分からず、「お塔婆がお墓にない。」と文句を言っていた人がいたと聞いています。折角のお墓参りも、そんな軽はずみな気持ちでしていたのでは、ご先祖さまのご供養になりませんね。

ベティ：　よくわかりました。また、最近では家族が病気になると、ご先祖さまがたたったとか、お墓参りが足りないとか、お墓や仏壇の向きや位置が悪いとご先祖さまのせいにする人がいますが、これは本当でしょうか。

ジャック：　違います。易者や知らない人の知ったかぶりに惑わされると、昔からの正しい教えが壊されます。このことも時々禅でらに書いてありましたが、普通のお参りをしていれば、たたりで病気になったり、事業に失敗したりすることはありません。そして、お墓や仏壇の向きはどちら向きでもよいのです。墓相というのもありません。仏事のことは、仏の教えを説き正しい儀式を行う菩提寺に聞くことが大切です。テレビでも葬儀のことを放送していますが、半分くらいは、おもしろおかしく興味本位に放送し間違っているものもあります。また、葬儀社にお寺の葬儀や法事のことを聞く方がいますが、これも本当に葬儀社の方は解って答えているのでしょうか。葬儀社は葬具や関係の物を調える会社で、儀式の正しいことは解らないのです。**お寺に聞いてください。**

ベティ：　そのとおりですね。お参りばかりしていれば、病気も失敗もなく、世界中の人が幸せになれると言うことも迷信ですね。それが正しければ、働く人はいなくなり、病院や薬もいらなくなりますね。現実にはそんなことは絶対ありません。私たちは、これからもお釈迦さまの正しい教えを実践して生きていかなければいけません。また、お葬式や法事や仏事のことは、お寺へお尋ねします。また、病気になる、仕事がうまくいかないことも自然の刹那ですね。

ジャック：　そうです、そのようにしてください。人は皆平等で、どんなお金持ちも生老病死はあるものです。ただ、正しい信仰によって、こころを強くし正しく生きていくことを知り、それを実践する

(次ページへ)

**とよはし市電を愛する会　入会のお誘い**

豊橋閣日進禅寺の代表役員も入会しています。個人会員　年会費 3 千円
お申込は、豊橋市新吉町 45　日の丸薬局内へ 0532-54-2365

（前ページから）

ことにより充実した心で生活出来ます。この 21 世紀には、悪い迷信を無くし、正しいお釈迦さまの教えを学びましょう。**非常識が常識ではいけません。**皆様のご先祖さまも、30 代（約 900 年前）に遡れば 1024 名もいます。そのご先祖さまが悲しんでしまいます。

ベティ：　ご先祖さまが悲しむと言えば、私の親戚の奥様のご主人が 40 代の若さで亡くなりました。それまでは、亡くなったご主人の両親にお墓参りを任していました。ご主人は、それが親孝行と思い任していたようで、それに従いお墓を顧みなかったようです。その奥様にお墓参りの途中で行き会った時、「主人のお骨が納められていないなら、私はご先祖さまの顔を知らないので、ご先祖さまだけへのお墓参りには行きません。」と平気で言いました。私は、おかしなことを言うなと思い、教えていただいたように「私たちのご先祖さまの 30 代（約 900 年）前へ遡った人数は、1024 人もいます。その中の誰一人欠けても、今の私たちはありません。大勢のご先祖さまのおかげです。」と言い、それを私は信じていますので、「私は顔を知らなくても、ご先祖さまのために、欠かさずお参りしています。」と言いました。

ジャック：　そうです、それが正しいです。1024 人ものご先祖さまがいたから、今の私たちがあるのです。そのご主人は若くて亡くなられたでしょうから、悲しみで、そのようなことを言われたのでしょう。きっと、本心ではないでしょう。若く亡くなられた方も、1024 人のご先祖さまが居たのです。その方たちがいなければ、その言われた奥様と、亡くなったご主人の出会いは無かったです。ですから、そのことは一番大切です。この偶然のようなことが、仏の教えの基本です。

ベティ：　安心しました。私のお参りが正しい考えですね。また、先日親が亡くなった方に、新興宗教の会合へ出るように誘われた方がいますが、その方はお断りしたようですが。

ジャック：　そうですか。そのように他人の家の宗教も尊重せず、何でもかんでも信ずる（集会へ参加することは信仰ではないが、とかく新興宗教はこのように強制的に誘い、信者を増やそうとしますが、憲法により信教の自由は保障されています。また、その家本来の宗教は大切です）ば「幸せになれる」と言うのは間違いです。どの人も、その集会へ参加すれば、死なずに、お金持ちになれれば、お医者様とか薬や医学は入らず、世界中の人は遊んでいてもお金持ちになれます。そしたら、その人は病気にもならず、お医者様へもかからず、働かずにお金持ちになれます。家庭も幸せですが、そんな現実はありません。不幸があり幸せがある。苦労があり楽しみがある。生があり死があるのです。これが人生で、限られた人生を生きるため、周囲の人たちが嫌な思いをしないよう配慮して、我慢と思いやりの心が人生ではないでしょうか。ですから、人の亡くなった時につけこむような宗教は邪教です。勧誘した人も情けないことで、自分の物さしでしか、人生を考えていません。自己中心だけで生きているのですね。慈悲の心をもって、平等に、そして忍耐をして生きましょう。また、それぞれの菩提寺が大切です。　　合　掌

## 納　骨　供　養　壇　　檀家様以外も申込可

お墓の無い皆様が便利なように、三階祠堂殿へ納骨壇を新設しました。ご希望の期間お骨をお預りします。お預りのお布施は、お申込時に申込金 5 万円（6 か月お預りします）のお布施を納めてください。次の半年は 3 万円、続いて次の一年は 5 万円と言うようにお願いします。最初の一年は半年単位、二年目からは一年単位です。ご希望の方は、豊橋閣日進禅寺までお申込ください。**お檀家様以外の方も受付ます。**

Contents（目次）


お盆施食立塔供養のご案内 1
岸辺に広がる美しい街パース 2
法事の申込 3
初盆の方 4
禅寺の動静（竹尾文夫さんの画） 5
孟蘭盆の由来と行事 6
お塔婆立の設置 7
施食棚と高万燈のご供養の仕方 7
イントランス・身障者トイレ・茶室・増築竣工 8
携帯帯電話からホームページを開く 9
仏教四方山話（2） 10
納骨供養壇 11
万一の時には（納骨） 12


# 万一の時には （納骨）

万一、檀徒の皆様のお宅で不幸が起こった時は、まず菩提寺の豊橋閣日進禅寺へご連絡ください。時間は問いませんが、深夜・早朝（午後11時位～午前6時位）は避けてください。電話は非通知設定してありますので、電話番号186-0120-111-940（通話料無料、携帯・公衆電話からも通じます）でおかけください。また、通じない場合はTel 186-0532-54-5558でお願いします。

**葬儀の日時は、お寺との都合をあわせてから、火葬場を予約し決めます。**お施主様と葬儀社だけで勝手に決めないでください。豊橋閣日進禅寺では、遠方でも、打合せをしてご葬儀執行に出かけます。最近、都会では葬儀社紹介の寺院が代理で行う（豊橋でもS寺、K寺が葬式寺になっているが？）葬儀が見受けられますが、**豊橋閣日進禅寺のお墓へ納骨出来ません。また、そのお墓は、即刻当墓地から移転していただきます。**ご注意いただきたいことは、お墓を移転する場合は、何時もお知らせしていますとおり離檀金50万円をご負担いただきます。

尚、最近報道番組等で放送されています散骨は、仏法を遵守するためにも、お墓へ納骨のお檀家様には許可しません。もう一つ、**散骨は1948年（昭和23年）に制定された「墓地、埋葬等に関する法律」により違反になります。本来これは違法ですが、1991年（平成3年）以来、通産省と法務省がこのような自然葬に付いて条件を付し違法でないという見解を示しています。その条件は、お骨を砕くことです。**「墓地、埋葬等に関する法律（墓埋法）」は、お墓や埋葬のことを色々細かく決めた法律です。他にも地方自治法や民法・刑法にも埋葬に関する規定と罰則があります。特に刑法第24章第190条は死体遺棄の規定があり、墓埋法で決められた方法以外の埋葬は、この死体遺棄にあたるので注意が必要です。日本では原則として、土葬と火葬以外は法律上認められていません。また、土葬の場合や火葬による遺骨を納骨することは、墓地として都道府県知事の許可を受けた所（墓地）に限られます。従って、死亡した人を勝手に庭先に埋めてしまうと法律違反となり、死体遺棄の罪に問われます。いまのところ、自分の家の庭に墓石を置くことは出来ても、納骨は出来ないと思って間違いないでしょう。また、庭・裏山とか海に撒くことは、他の人に踏まれたり迷惑を掛けたりし、また庭の場合は土地の価値を無くしてしまいます。また、樹木葬とはお骨の成分が木の栄養になるわけですが、犬猫動物（畜生等）の骨ならともかく、私たちは人間です。人ですから、お釈迦さまの教え尊重し、送る方は節度を守り、節度や恩義や正義を重んじるのです。最近では、一部の声の大きい方のように、葬儀にかかるお金だけをケチで始末することでなく、葬儀では無くなった仏さまの名誉や送る方の人間性や布施行の心持ちがあります。ご先祖さまを大切にしましょう。従って、豊橋閣日進禅寺（仏教徒）は、仏法に照らして、お骨を砕くような非常識な行為は常識的にも出来ません。守れない方のお墓は、即刻当墓地から移転していただきます。この場合も、上記離檀金をご負担いただきます。

**私たちのご先祖さまの30代（約900年）前の人数は、1024人もいます。その中の誰一人欠けても、今の私たちはありません。大勢のご先祖さまのおかげです。**生まれること、亡くなること、両方とも人生においてすばらしいことで神秘的なことです。お釈迦さまは、どんなお金持ちでも凡人でも生・病・老・死は平等に迎えることであると教えています。 合 掌

**終戦60年、二度と戦争を起こさないために、その頃の体験を送ってください。**
**戦争を知らない若い人たちに、禅でらを送り、読んでいただきます。お壇家様以外の投稿歓迎。**
**E-mail mail@111-940.com か、ワードFD、または手書きで送ってください。**